

ストアサイネージルシーダ使用者様向

silex Media Transporter マニュアル補足説明

はじめに:

エムケー精工の屋外型液晶サイネージであるストアサイネージルシーダでは表示制御にサイレックス・テクノロジー株式会社(以下、silex 社)の機器を使用しております。

ストアサイネージルシーダにご自分で表示する動画を登録する場合、silex 社が公開している Windows 用アプリケーション silex Media Transporter をインストールしてご使用ください。

https://www.silex.jp/support/download/download_term?query=Multicast%20Distribution%20System%20X-5

ダウンロード同意後に表示されるページのアプリケーションソフトウェアから「silex Media Transporter (旧 Media Transporter2)」をダウンロードします。

また silex Media Transporter のマニュアルは同ページ「silex Media Transporter User's Guide」をダウンロードします。

※2024年 04 月現在、silex Media Transporter はページ一番上、マニュアルはカテゴリー内の一番下にダウンロードリンクがあります。

ご注意:

表示動画の登録には silex Media Transporter 以外のアプリケーションは不要です。

ダウンロードページ内には様々なプログラムが公開されていますが、ストアサイネージルシーダがサポートするのは silex Media Transporter の他には、複数台の同期再生を設定する SX Smart Finder のみとなります。

上記以外のアプリ・機能から機器の更新・設定を行なった場合、ストアサイネージルシーダの動作保証は行えませんのでご注意ください。

ストアサイネージルシーダの設定:

silex Media Transporter のインストール・操作方法はマニュアルをご参照ください。

ただしストアサイネージルシーダの機器設定(新規作成する場合に必要)は以下の設定としてください。

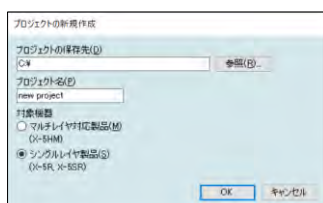
プロジェクトの新規作成

対象機器: シングルレイヤ製品(S) (X-5R、X-5SR)

番組リスト 新規作成

解像度(R): Full-HD(1920x1080)、アスペクト比保持

画面の向き(D): 縦向き(左回転)



表示データの転送:

表示制御に使用している機器の無線 LAN 機能は工場出荷時に OFF 設定となっています。

そのため表示データの転送は、

①USB メモリに外部出力したデータをストアサイネージルシーダの USB 端子に挿入する

②パソコンとストアサイネージルシーダを有線 LAN で接続して転送

のどちらかの方法で行います。

一般には、比較的手間が掛からない①USB メモリを使用する方法 をお勧めしています。

USB メモリをストアサイネージルシーダの USB 端子に挿入すると自動的に転送を開始します。転送が終了(放映が再開)するまでお待ちになってから USB メモリを抜いてください。

なお USB メモリにも稀に相性問題が発生するため、ストアサイネージルシーダには動作検証済みの USB メモリを付属しています。

出力データの最大容量:

7. 2 GB

登録容量が超過しても silex Media Transporter ではダイアログ等は表示されません。

容量が超過した出力データを入れた USB メモリをストアサイネージルシーダの端子に挿入した場合、転送が行われません(メッセージなどは表示されず無応答状態)。

動画の総登録時間が 15 分以上の場合は容量超過している可能性がございますのでフォルダ容量をご確認ください。

動画変換について:

silex Media Transporter に登録した動画は番組タブで保存をクリックした後、専用形式への変換処理を行います。

パッケージデータの出力やアプリケーション終了はこの動画変換処理が終了するまで行えません(強制中断すると不完全なデータになります)。

変換の進捗状況はウィンドウ下部に表示されます。また変換完了後に画面(タブ)の切り替えを行わないと、変換中のダイアログが表示される場合があります。

データの保管について:

USB メモリ用に外部出力したデータ、「contents」フォルダは silex Media Transporter に読み込ませる事ができません。

そのため、後々表示内容を追加する場合はプロジェクトフォルダ(作成時に指定した保存先にあるプロジェクト名のフォルダ、拡張子が mt2p のファイルを含む)を保管してください。

また、複数のプロジェクトの表示内容を組み合わせる場合、silex Media Transporter に読み込ませる前の mp4 等の動画が必要になるため、編集用にそれらの動画ファイルも保管ください。

動画品質の設定:

動きが激しい動画や動画圧縮の相性が悪い動画では、silex Media Transporter の動画圧縮によりノイズ等の画質劣化が出てしまう場合があります。

そのような場合は、問題となった動画登録を削除した後、silex Media Transporter の設定にある「動画品質(V)」の数値を上げ、動画を再読み込み(変換)し直してください。

なお動画品質を上げると必要な容量が増加する(保存できる動画時間が短くなる)ため、問題となった動画の変換後は設定を元の値に戻してください(「初期値」ボタンでインストール時の設定に戻せます)。

ご参考までに、当方検証では目立つモスキートノイズ(文字周囲のモヤモヤ)が発生した動画の場合、動画品質を 3 上げないとノイズを消し切れませんでした。発生状況にもよるため参考程度となりますが、動画品質の数値は 1 の変更では若干の違いにしかならないため、ノイズ等を消したい場合は 2~3 の数値変更をお勧めします。